

公共施設等マネジメントサイクルの実現を目指した「公共施設等総合管理計画」を改訂しました

公共施設等の安全・安心を確保するとともに、最適かつ持続可能な公共施設等のサービスを目指します

背景

■国の動向

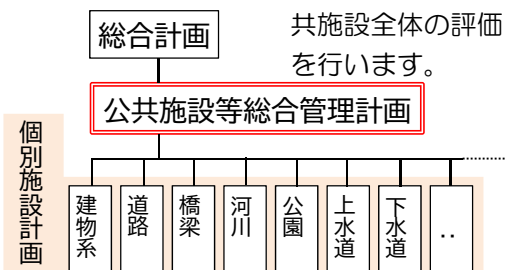
国においては、中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を契機に、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、平成 26 年 4 月には、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「公共施設等総合管理計画」を速やかに策定するよう、地方公共団体に対し要請を行いました。

■焼津市の取組

焼津市では、人口の増加や行政需要の拡大などを背景に、主に昭和 40 年代から 60 年代にかけて公共施設等の建設・整備が行われており、公共施設等の老朽化や今後の人口減少、人口構成の変化に対応した公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進します。

計画の位置づけ

市の最上位計画である総合計画の下位計画として、個別施設計画の進捗管理や公共施設全体の評価を行います。



目的

①施設需要の変化に応じた質と量の最適化

人口減少、人口構成の変化やライフスタイルの多様化等、市民ニーズの変化に対応した公共施設等の最適な質と量を維持します。

②事後保全から予防保全へ転換

計画的な予防保全を講じることにより、公共施設等の長寿命化を図るとともに、将来にわたり安心・安全に利用できる状態を維持します。

③財政負担の軽減と平準化

公共施設等の再編や改修・更新の効率化や時期の分散化などにより、財政負担の軽減と平準化を図ります。

課題

①公共施設等の将来更新費用の算出

将来の人口や、人口構造の変化をふまえ、公共施設等の将来更新費用を総合的に捉えることが課題です。

②公共施設等の維持管理方針とマネジメント

より一層の財政負担の軽減が望まれる状況で、公共施設等の将来更新費用算定とその平準化が課題です。公共施設等の総合的、および施設ごとの管理方針をどのように定めるのが課題です。

③財産負担に資する市有資産の有効活用

公共施設等の管理を今までよりもさらに効率的かつ効果的に実施するとともに、財政負担の軽減に資する低利用・未利用の市有資産は民間活用を図り、充て可能な財源に割り当てる方が課題です。

基本理念

■質と量の最適化

供給、品質、財務の3つの視点から、質と量の最適化に取り組みます。

■公共施設等総合マネジメントの推進

公共施設等の全体像を把握し、市民の安全や生活を守る観点から、総合的なマネジメントに取り組みます。

■市民との問題意識の共有化

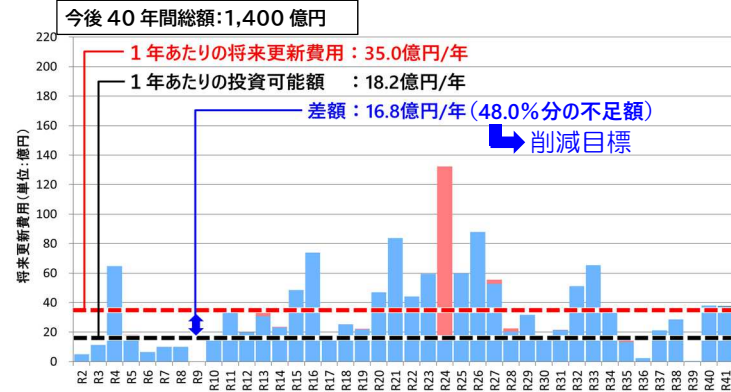
公共施設等を大切な資産と捉え、市民と問題意識を共有しながら、公共施設等の将来の方向性の確立に向けて取り組みます。

長寿命化対策等の効果額と削減目標など

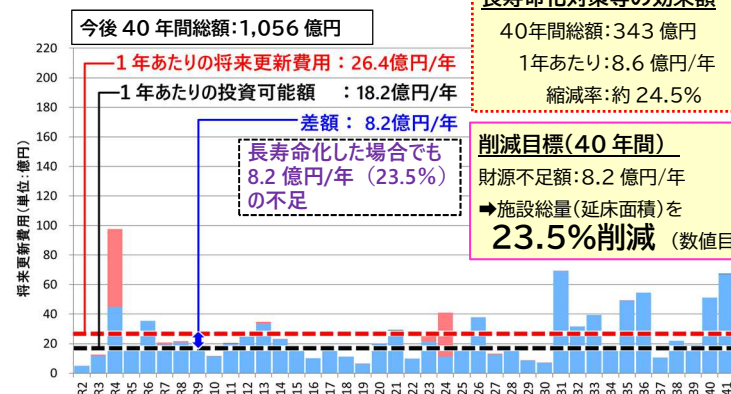
建物系公共施設の将来更新費用

■建物系公共施設 ■医療施設 ■駐車場施設

◆従来型



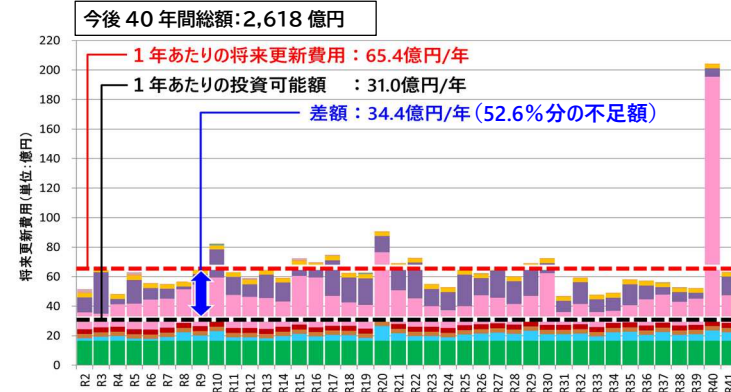
◆長寿命化型（長寿命化対策等の実施）



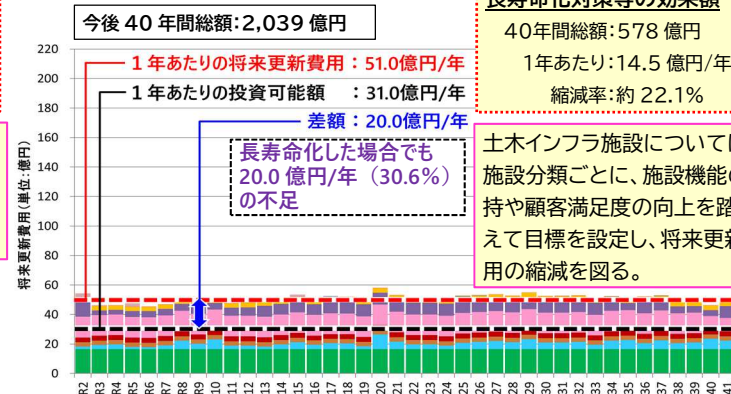
土木インフラ施設の将来更新費用

■道路施設 ■橋梁施設 ■河川施設 ■公園施設 ■上水道施設 ■下水道施設
■港湾施設 ■温泉施設 ■農業土木施設 ■交通施設 ■生活排水処理関連施設

◆従来型



◆長寿命化型（長寿命化対策等の実施）



公共施設等の維持管理方針

【総合的管理に関する基本方針(項目)】

- 点検・診断等の実施方針
- 維持管理・補修・大規模改修・更新等の実施方針
- 長寿命化の推進方針
- 廃合等の推進方針
- 民間活力の活用方針
- 余剰資産の利活用方針
- 民間提案を受け入れる仕組みの構築方針
- 各種計画との連携方針
- 広域的な連携等の取組方針
- ユニバーサルデザイン化等の推進方針

【施設類型ごとの管理に関する基本方針】

(公共施設等の管理に関する基本的な方針の項目)

- 点検・診断等の実施方針
- 維持管理・修繕・更新等の実施方針
- 安全確保の実施方針
- 耐震化の実施方針
- 長寿命化の実施方針
- 統合や廃止の推進方針

公共施設等マネジメント PDCA サイクル

